

2024年 3月 31日 《 イースター礼拝 》

主 日 礼 拝 ①8時半 ②10時半 ③夜7時

司 会 ②石井 秀人兄

奏 楽

祈 禱 ②白川 達男兄

賛 美 聖歌168番「いざひとよ」
～歌おう声合わせて～

主の祈り

聖書朗読 コリント人への第一の手紙15章3～10節

特別映像 「イエスの死と復活」(映画「サン・オブ・ゴッド」より)

メッセージ 「希望は、絶望の淵の中で光り輝く」
石井 潤 牧師

献 金 新聖歌18番「おおみ神をほめまつれ」

賛 美 ～主イエスをほめよ～

祝 禱

お知らせ [司会者]

賛 美 「叫べ、全地よ」

☆礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします! ☆
《今週のお知らせ》

☆今朝は「イースター礼拝」です。第二礼拝直後に「信徒懇談会」が行われます。

★今週の祈り会： ①早天祈禱会 明朝6時、 ②祈禱会：木曜午前10時半、
夜7時半(大和祈禱会映像)。 ③準備祈禱会：土曜夜8時。

☆来週の日曜礼拝では誕生祝福式(司:白川兄/祈:石井兄)。午後は聖書の学び会。

◆土地献金口座:[郵便局から]【記号】11180【番号】15302281/ウエダカルバリーチャペル
[他銀行から]【店名】一八(イチイチハチ)/【店番】118/普通預金/【口座番号】1530228

★一年に一回聖書を完読できる! Bible Reading Plan [3/31-4/7] ☆								
Date	日	月	火	水	木	金	土	日
聖書箇所	マルコ 4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14	15-16	士師記 1-3
チェック	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇	〇〇	〇〇〇

「希望は、絶望の淵の中で光り輝く」

～すべてのマイナスは必ずプラスになる！～

「御子(イエス・キリスト)は、見えない神のかたちであって、すべての造られたものに先だって生れたかたである。万物は、…みな御子にあって造られ…、御子によって造られ、御子のために造られたのである。彼は万物よりも先にあり、万物は彼にあって成り立っている。…。彼は初めの者であり、死人の中から最初に生れたかたである。それは、ご自身がすべてのことにおいて第一の者となるためである。…。そして、その十字架の血によって平和をつくり、万物…を、ことごとく、彼によってご自分と和解させて下さったのである。」　コロサイ人への手紙1章15-19節

イースター、主のご復活を心よりお祝い申し上げます！

2000年前のこの日の早朝、主イエス様はよみがえられました！！それは、アクシデント(たまたま)ではなく、必然、当然の出来事でした。すでに何度も主の口から、その予告とも言える宣言が語られていました。起こるべくして起こった事だったのです。そして、この復活という出来事は、キリスト教の最も大切な考え方となりました。そして、それは究極の、決して揺るがない希望の福音として、2000年間、教会のメッセージとして語られ続けてきました。

しかし、この復活のメッセージは、人類史上、それ以前もそれ以後も決してありえない出来事であるため、いつしか伝説のように、また、架空の出来事のようにしか考えられなくなってしまい、人々の中には中々受け入れられないメッセージとなっています。

ある意味では、それは当然のことで、3年半も寝食を共にした弟子たちさえも、最初はそのメッセージを受け入れることができなかつた訳ですから、ただの人間が、そう簡単に受け入れられるはずがありません。しかし、その福音のメッセージを信じ、受け入れた人々は、特別な恵み、希望を持つことができ、死をも恐れない強い心が与えられるように変えられていきました。

その結果、2000年が経過した今でも、そのメッセージ、信仰が人々の中に継承され、彼らは主が命じられたように、その赦しのメッセージ、救いのメッセージ、愛のメッセージ、希望のメッセージを伝え続けて、キリスト教会として、世界中に神の家族が届けられていきました。そして、それぞれの国々、それぞれの地域の中であって、主の究極の希望のメッセージの発信源となり、世界中に希望を届け続けているのです。

「マイナスは必ずプラスになる」は私たちカルバリーチャペルグループの得意とする大切なメッセージです。主イエス様はただ単に復活したわけではなく、その前に、考えられないような苦しみと、完全な死を経験しました。その決して覆されることはないような苦しみと死は、大いなるマイナスであり、絶望です。一点の光もない状況です。しかし、そんなゼロの可能性の中でも、私たちは希望を持つことができるというメッセージがこの「復活」の持つメッセージです。そして、その結果与えられる希望は絶対に取り除かれない永遠の希望であるということなのです。その「栄光の望み」である主イエス様を見上げ、信じ、その光の中を歩み続けていきましょう！